

【保育所版】 秋田県福祉サービス第三者評価 評価結果票 (県社協 ⇒ 保育所(園))

評価実施基準日	平成 20 年 3 月 18 日
評価確定公表日	平成 20 年 6 月 18 日
評価情報更新日	平成 年 月 日

◆ 評価を実施した機関

名称	(社会福祉法人) 秋田県社会福祉協議会
所在地	(〒 010 - 0922) 秋田市旭北栄町1番5号
TEL	(018) 864 - 2740
FAX	(018) 864 - 2742
E-mail	hyoka@akitakenshakyō.or.jp
ホームページURL	http://www.akitakenshakyō.or.jp

◆ 評価を受審した事業者

法人名称	(社会福祉法人) 雄 仁 会
法人所在地	(〒 010 - 1423) 秋田市仁井田字仲谷地284
TEL	(018) 839 - 5375
FAX	(018) 839 - 5323
法人代表者	理事長 上村 清一
事業所名	あおぞら ^{ホイク・エン} 保育園
サービス種別	保育園
管理者名	園長 上村 清一
開設年月日	昭和 52 年 4 月 1 日 定員数 120 名
TEL	(018) 839 - 5375
FAX	(018) 839 - 5323
E-mail	aozora-h@isis.ocn.ne.jp
ホームページURL	http://www8.ocn.ne.jp/~aozora-h/

◆ 評価の総評 (優れている点、改善を求められる点)

I 福祉サービスの基本方針と組織
「奉仕の精神と社会貢献」という法人理念に基づき、保育理念・基本方針を具体的に掲げ、園内各所に掲示して保護者や職員に周知しているほか、会議等の際には復唱して保育に臨む基本姿勢を明確にしている。 地域のニーズを踏まえた15年長期計画を策定しており、園舎の立て替えなど長期的な展望を見据えて事業計画に反映させ、具体的な数値目標も掲げている。 管理者は、園独自で実施している保護者アンケートの分析結果や、過去に受審した第三者評価結果等に基づき、保育を取り巻く社会情勢に適応した保育サービスの提供を心がけており、コンプライアンスに基づいた研修参加など、保育の質の向上に積極的に取り組んでいる。 計画の見直しに関して職員の参画が十分とはいえないため、さらなる業務の効率化を図りながら、できる限り職員が関われる手法・仕組みづくりが望まれる。
II 組織の運営管理
各種研修会に参加して保育情勢の把握に努め、運営委員会を中心にして運営状況や事業内容の分析・改善に取り組んでいる。 法人独自の評価基準を整備し、その過程で自己評価と個別面談を行い人事考課に反映させているほか、経験年数や役割に応じて研修計画を策定し、その成果を評価しながら次年度の計画に反映させるなど、保育の質の向上に力を入れている。 園内外にカメラ・モニターを設置して子どもの安心・安全の確保に努めているほか、働きやすい職場づくりや実習生受け入れの的確な記録と指導・実施など、質の高い人材確保にも取り組んでいる。 地区社会福祉協議会や民生委員と連携し、一人暮らし高齢者宅への宅配弁当や公民館での出前保育など、地域ニーズに応じて多様な保育事業・活動を展開している。
III 適切な福祉サービスの実施
子ども一人ひとりを尊重する保育方針に基づき、個人情報保護及びプライバシー保護への配慮も整備しているほか、アンケートや保護者面談等による意向の把握、苦情解決委員会や第三者委員、意見箱の設置など、利用者本位の保育サービス提供を心がけている。 園独自の統一したアセスメント様式により、保護者のニーズを踏まえた指導計画を策定し、定期的な評価、見直しとともに職員間でも共有しながら保育の標準化を図っている。 課題に対しては、職員に周知しながら改善策を検討しているが、効率的な職員参画の仕組みを工夫しながら、その機能を発揮できる体制を整えていくことが望まれる。 「入園のしおり」やホームページ等に必要な情報を掲載し、園内外へのお知らせ掲示などにより広く情報提供に努めている。
A 子どもの発達援助、子育て支援、安全・事故防止
基本方針に基づき、月計画及び個別指導計画を適切に策定し、健康診断や歯科検診の結果報告とともに発達状況を観察し、保護者への伝達と職員間の周知を徹底している。 食事は行事食のほかバイキングをとり入れ、テーブルクロスなどにも工夫がみられ、季節感のある食材やアレルギー児童に配慮した献立・盛り付けなど、楽しく食事ができる雰囲気づくりに努めている。 園内には子どもの欲求や好奇心を満たした手作りや廃材を活用した遊具・玩具を多くとり入れ、創意・工夫ある環境づくりと活動に取り組んでいるほか、地域へのチラシ配布や宅配弁当、園の大型バスでの遠出や電車に乗っての社会体験など、地域社会との関わりを大切にしながら充実した保育を実践している。
※ その他、特記事項
園舎はバリアフリーで、自然に恵まれた環境のもと保育設備が充実しており、子ども一人ひとりを受容した温もりのある保育を実践している。

◆ 細目の評価結果（基本評価55項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1) 理念、基本方針が確立されている。			
①理念が明文化されている。	a	「奉仕の精神と社会貢献」の法人理念に基づき保育理念を明文化している。	今後も法人理念・基本方針を基に、職務、業務に取り組んでいきます。
②理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	保育理念を具体化し、利用者の尊厳保持と意向を尊重した基本方針を掲げている。	
(2) 理念や基本方針が周知されている。			
①理念や基本方針が職員に周知されている。	a	職員には文書を配布しているほか、会議の前などに声を出して復唱しており、職員一人ひとりに意識的に周知するよう取り組んでいる。	職員は語んじられるよう、毎日復唱すると共に保護者や地域の方々へも積極的に周知し、理解していただけるような工夫を心掛けます。
②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a	保護者や地域住民に対してはパンフレットを配布し、会合時などにも説明しているほか、ホームページでも明示している。	
2 計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
①中・長期計画が策定されている。	a	15年長期計画を策定して長期的な展望を示しているが、保育サービスの充実に向けて、将来的なビジョンをより具体的に示していくことが望まれる。	平成20年度の事業計画から、保育事業についての中期計画を策定し、具体的な指標を掲げています。今後もサービスの質の向上に向けて、将来的なビジョンを明確にしていくよう取り組んでいきます。
②中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a	15年長期計画や地域ニーズを踏まえた事業計画を策定し、内容や報告書も明確で、具体的な数値目標も設定している。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(2) 計画が適切に策定されている。			
①計画の策定が組織的に行われている。	b	法人理事会が主体となり計画を策定しているが、評価や見直しに関して、できる限り職員の参画のもとに取り組むことが望まれる。	平成20年度計画からは、事業計画を協議する法人理事会以前に、施設職員参画により、計画案の作成を行っています。
②計画が職員や利用者に周知されている。	a	保護者には文書を配布し、加えて個々の保護者面談等でも周知しており、職員に対しては配布・回覧により周知している。	今後も、保護者面談や園便り等の配布物を通じて周知していきます。
3 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
①管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a	運営委員会及び職員会議で、事業の推進や方針、保育を取りまく社会情勢等について説明しており、管理者の責任を十分理解している。	法人理事会や職員会議等の場で、将来的な方向性や考慮すべき事項についての説明責任を果たせるよう、今後も取り組んでいきます。
②遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	コンプライアンスの観点から、部会による定期的な話し合いと研修により理解を促すため、積極的に取り組んでいる。	
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
①質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a	保育サービスの向上に向けて部会や会議を定期的に行い、園独自でアンケート調査も実施して分析している。 また、過去に全国保育士養成協議会の第三者評価も受けるなど、積極的に取り組んでいる。	保育サービスの質の向上や経営改善に、意欲を持ち、継続した取り組みを心掛けます。
②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	運営委員会において運営状況の課題分析と改善策を検討し、職員の個別面談からも業務上の課題等を把握して改善につなげている。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
II 組織の運営管理			
1 経営状況の把握			
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
①事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a	各種研修会等に参加して保育情勢の把握に努めているほか、アンケートの実施や様々なネットワークを活用して必要な情報を収集している。	経営状況の把握に努め、課題や検討事項を明確にして改善に取り組んでいきます。
②経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a	運営状況の分析や入・退園児の状況把握、事業内容の検討を行い、効率的な運営に向けて課題の把握に努めている。	
③外部監査が実施されている。	c	以前は公認会計士を採用して経営改善に努め、それを基にして現在は職員のみで分析しているが、適正な運営管理のため、専門家による助言・指導を受けることが望まれる。	今後は専門家による助言や指導を視野に入れ改善検討していくよう努めます。 また、「外部監査の実施」項目においては、捉え方や評価基準等について更に具体化して下さることを望みます。
2 人材の確保・養成			
(1) 人事管理の体制が整備されている。			
①必要な人材に関する具体的なプランが確率されている。	a	入所予定者の決定時期など難しい側面もあるが、早期の把握に努めながら必要な人材や要員体制を確保している。 今後は、現在の取り組みを含めて具体的にプランとして明確にし、15年長期計画にも反映させていくことが望まれる。	人事管理については、年度内に市より通知される入所予定者リストを参考に、先を見通して取り組みます。
②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a	人事考課マニュアルを長年にわたり検討・見直ししながら、園独自の基準に基づき実施している。 また、人事考課プロセスにより自己評価を行い、個別面談においてフィードバックしている。	考課マニュアルの改善に努め、公正な評価が実施されるよう努めます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	有給休暇の取得状況や疾病状況の把握に努めており、緊急時の時間休も取りやすい体制とし、業務の引継もスムーズに行われている。	職員の就業状況に配慮した職場環境の構築に努めます。
②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a	秋田市勤労者福祉振興会の福利厚生事業（ワークパル）や独立行政法人医療機構の退職金制度に加入しているほか、健康診断や予防接種も積極的に実施している。	
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	保育の基本方針に保育の向上を位置づけ、職員研修規程に基づいて、的確な研修の受講を実施しており、研修報告を徹底して研修成果を共有している。	保育所保育指針の改正を考慮した、職員の質の向上が図られるよう取り組みます。
②個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a	職員研修規程に基づき、職員の経験年数や職種に応じて年間研修計画を策定しており、指導部会においても職員の教育・研修に取り組んでいる。	
③定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a	園内外の研修報告書を提出し、園長・補佐・主任が研修成果を確認のうえ評価し、次期の研修計画に反映させている。	
(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。			
①実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a	実習生の受け入れ対応マニュアルを整備し、実習担当者やオリエンテーションでの説明など、一連の手順等を明確にして対応している。	実習生の受け入れを適切に行っていくための対応を継続していきます。
②実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a	実習生には事前指導資料を配布しているほか、園児と実習生の活動を組み入れたプログラムを作成するなど、効果的な実習とするために指導・助言しながら取り組んでいる。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
3 安全管理			
(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
①緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	緊急時等のマニュアルを整備し、子どもの安全・安心を最優先として、保護者への連絡や関係機関との連携など、迅速に対応できる体制を整えている。 また、防犯カメラやモニターを設置して不審者等への対策も充実している。	緊急時の対応や利用者の安全確保については、事例を検証し継続して改善に取り組みます。
②利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a	施設点検表により園内外の点検を行い、会議等で報告のうえ共有している。 また、不適切サービスの報告を基にした対応について、指導部会でも検討し、管理者の確認、判断、承認を得ながら対策を講じている。	
4 地域との交流と連携			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
①利用者地域との関わりを大切にしている。	a	保育理念に基づき、地域にパンフレットを配布して、敬老会や運動会などの地域参加型事業を実施するなど、地域と園との相互交流を大切にされた保育の実践に努めている。	法人理念を基に、継続した地域福祉活動に取り組めます。 ボランティアを積極的に受け入れ、施設への理解を図り、地域の福祉マンパワーの育成に努めます。
②事業所が有する機能を地域に還元している。	a	在宅で子育て中の母親の相談を受けながら地区の公民館で出前保育を行うなど、法人・保育理念に基づき可能な範囲で地域に貢献している。	
③ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	マニュアルを整備して受け入れの意義を明確にし、双方の立場に立った基本姿勢や留意事項を明示している。 また、ボランティアにも個人情報保護のため誓約書を書かせるなど、責任体制も明確にしている。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
①必要な社会資源を明確にしている。	a	関係機関や団体等の連絡方法を各所に掲示し、各機関との連携の必要性とともに職員及び保護者にも周知している。	関係機関の周知を図るための工夫に取り組みます。 保育所保育指針の改正を考慮し、小学校への進学に際し、連携が図れるよう努めます。
②関係機関等との連携が適切に行われている。	a	園行事の案内を地域に配布して理解と協力を働きかけているほか、事業や活動、目的に応じて必要な機関・団体と連携している。 就学前の施設として、特に小学校との連携を充実させ、円滑な進学を支援していくことが望まれる。	
(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
①地域の福祉ニーズを把握している。	a	園長が地区社会福祉協議会の会長を務めていることもあり、民生委員とも連携を図りながら、ひとり暮らし高齢者や子育て支援のニーズ把握に努めている。	より良い保育サービスを提供していくため、地域の声に積極的に耳を傾けていきます。
②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a	ひとり暮らし高齢者宅へ子どもが弁当を届けたり、公民館への出前保育や育児相談を行っているほか、近隣病院への訪問事業など、地域ニーズに基づいた積極的な取り組みを行っている。	
III 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
①利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a	保育方針に基づき、子ども一人ひとりを尊重することを前提に計画を作成し、指導部会や研修会において組織的取り組みを周知している。	利用者（児童、保護者）の受容、共感に努め守秘義務を遵守します。
②利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	個人情報保護規程に基づき、個人情報やプライバシー保護に関する勉強会を行い、取り扱いに関する共通認識を持ち、必要な情報等については保護者からの承諾書を得ている。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(2) 利用者満足の上昇に努めている。			
①利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	a	園独自に記名式の保護者アンケート調査を行い、個人面談の内容からも分析を行い、組織内で検討のうえ、その結果を保護者に周知している。	利用者との毎日のコミュニケーションに加え継続して、利用者アンケートを実施するとともに明確な対応を心掛けます。
②利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	a	アンケート調査や保護者面談により保護者の意向や希望を把握し、運営委員会等で検討したうえで保育に反映させているほか、保護者等にアンケート調査報告書を配布し、理解を求めている。	
(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
①利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a	連絡帳を通じて保護者の意見や要望を把握し、2歳までは毎日、3歳以上は週1回のやり取りとしている。 また、意見箱の設置やアンケート調査、面談などでも意見を述べやすい環境を整備している。	職員一人ひとりが、利用者の思いを、しっかりと受けとめていけることができる力をつけていけるよう努めます。 相談、意見、苦情については、速やかな対応を心掛けます。
②苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a	法人として苦情処理規程を整備し、受付担当者や責任者のほか、第三者委員や苦情解決委員会を設置している。 また、苦情解決の手順を園内に掲示し、説明しながら保護者への周知にも努めている。	
③利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	苦情対応マニュアルを整備し、発生・受付から解決に至るまでを迅速に対応することを心がけている。 また、意見や要望に対する改善策については、職員間でも周知し、できる限り保育に反映させている。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
2 サービスの質の確保			
(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。			
①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a	過去に全国保育士養成協議会の第三者評価を受審しており、その経験を活かして組織内で定期的に自己評価を行い、指導部会等で協議のうえ決定・実施している。	定期的な自己評価を継続し、評価の視点の共有化に努めます。
②評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a	保育内容の評価・分析を行って課題を明確にしており、職員間でも話し合いのうえ共通認識を図っている。	PDCAサイクルの適正化に努め、課題を周知するとともに、対応を協議し改善する体制を構築します。
③課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b	評価結果から明らかになった課題を職員に周知しながら改善策を検討する体制になっているが、職員参画という点では十分とはいえないことから、今後は職場に適した職員参画の方法を工夫しながら、その機能を十分発揮できる体制を整えていくことが望まれる。	
(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
①個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a	質の高い多様な保育サービスを提供するため、保育マニュアルを整備して実施方法を確立しており、職員には会議等の場で周知している。	施設内においてマニュアルの修得や改善に対するの体制を構築します。また、その際には会議録の文章化を図ります。
②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	必要に応じて見直しを行い、職員会議等で職員への周知も徹底している。 今後は、組織としての定期的な検証や見直しの方法、その仕組みを明確にし、それを目に見える形で記録することが望まれる。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
①利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	子ども一人ひとりの発達状況や指導計画、保育の内容を具体的に記録しているため、子どもの状態や経過の把握を可能にしている。	個人情報保護規定に基づいた記録の管理を徹底し、利用者一人ひとりの情報を共有化できるよう継続して取り組みます。
②利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	個人情報や情報開示に関する規程を整備し、守秘義務の遵守を職員に周知・徹底している。また、法人の文書保存規程に基づき、関係する文書は適切に保存・管理している。	
③利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	定期的に職員会議やケース検討会議などを開催し、職員間で確実に情報を共有しながら、保育サービスの標準化に努めている。	
3 サービスの開始・継続			
(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
①利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a	ホームページの内容を毎月更新しているほか、地域に対してパンフレットを配布するなど、必要な情報を提供している。また、保護者に対しては、その日の活動を説明を添えて写真で掲示するなど、工夫しながら情報提供に努めている。	「わかりやすい」保育サービスの説明について検証し、より良い情報を提供できるようにしていきます。
②サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a	「入園のしおり」に保育内容を具体的に記入し、個人情報保護の取り扱いも含めて個別に面談のうえ保護者に説明・周知して理解を図っている。	
(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
①事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	入所変更については特に情報提供していないが、必要によって継続性が望まれる園児（障害児等）の場合には、取り扱いに留意しながら必要な情報を提供している。	必要に応じて対応ができるようにします。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
4 サービス実施計画の策定			
(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
①定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a	園独自の統一した様式を用いたアセスメントにより、子供の身体状況や生活状況を的確に把握しており、その情報を計画に生かしている。	アセスメントの手順に沿って、把握した状況から、課題を明らかにして全職員で周知していくよう努めます。
②利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a	家庭調査表や個別面談等により、子ども一人ひとりのニーズを踏まえた指導計画、課題を把握している。 また、不適切サービス報告書からも改善点を明らかにし、保育に反映させている。	
(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
①サービス実施計画を適切に策定している。	a	アセスメントに基づき子ども一人ひとりの指導計画を策定し、関係職員の合議のもとに策定するため、実行性のある内容となっている。	計画の定期的な見直しと実践を、継続して取り組みます。
②定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a	定期的に各クラスごとに話し合い、実施状況の評価、保護者の意向把握など、定められた手順に沿って計画を策定している。 計画の内容は、保護者にも個別面談や送迎時に伝え、同意を得ている。	計画の定期的な見直しと実践を、継続して取り組みます。

◆ 細目の評価結果（内容評価34項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
1 子どもの発達援助			
(1) 発達援助の基本			
①保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a	基本方針に基づき、月計画、週計画、個別指導計画を適切に策定しており、地域ニーズや保護者の意向も反映させている。	地域の実態や保護者の意向を考慮した取り組みを実践します。
②指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a	定期的にクラス単位で話し合い、そこでの評価・反省を踏まえて翌月の指導計画に反映させている。	評価に基づいた見直しを定期的に行います。
(2) 健康管理・食事			
①登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a	健康観察マニュアルを整備し、送迎時での保護者との話し合いやクラスノートへの記載に基づき、子どもの体調変化に留意しながら保育を行っている。	日常の中で、子ども達一人ひとりの、体調の変化を見落とすことが無いよう努めます。
②健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映されている。	a	健康診断の結果を担当者がまとめ、個人日誌への記録とともに保護者に伝達している。 また、職員間でも共有し、保育内容に反映させている。	保護者の立場になった情報の伝達を心掛け、その意向を保育に反映できるよう努めます。
③歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映されている。	a	健康診断結果と同様に検診の結果をまとめ、保護者への周知と職員間での共有により、発達状況を観察しながら保育に反映させている。	保護者の立場になった情報の伝達を心掛け、その意向を保育に反映できるよう努めます。
④感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a	食中毒やO-157、インフルエンザ等の感染症マニュアルを整備し、園内各所への掲示とともに保護者や職員への周知、発見・対応手順も明確にしている。	発生時における危機管理体制を構築し、利用者への早急な情報提供と対応を心掛けます。
⑤食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	行事食やバイキングの実施のほか、テーブルクロスや箸入れ等に創意工夫がみられ、3歳以上児には給食当番の役割を持たせている。 また、子どもの年齢や体調に応じて盛りつけを変え、個別に対応・配慮している。	保育所保育指針の改正を考慮した食育活動に取り組みます。 また、「楽しい食事」を意識した取り組みをします。

項目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑥子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	給食担当者が食事の様子を観察し、残量確認とともに子どもの話を聴き、献立表を立てる際の参考としており、季節感のある食材も提供している。	食事やおやつは手作りを基本とします。季節感を意識した献立と行事食の工夫を心掛けます。
⑦子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a	献立表や離乳食の進め方、アレルギー児童に配慮した食事など、園だよりを通じて家庭との連携を図っている。 また、玄関脇にその日の食事を展示し、保護者が一目でわかるよう配慮している。	毎日の「展示食」をはじめ、園便りやクラス便りには、家庭での食生活が充実できるような情報提供を心掛けます。
⑧アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a	医師の指示に基づき、保護者と保育士が連携しながら適切に対応しており、見た目にも他の子どもと変わらないよう盛り付けなど工夫し、子どもにストレスを与えないよう配慮している。	専門医からのアレルギー指示書にそった対応をします。
(3) 保育環境			
①子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	建物や園内外の危険箇所、備品等のほか、トイレや清掃状況に至るまでチェック表で確認しており、清潔保持と安全の確保に努めている。	清潔感の保持、安全の確保を考慮した環境整備に取り組みます。
②生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a	子どもの欲求を満たすことができるよう全体的に創意工夫のある環境づくりに努めており、保育内容にも反映させている。	子ども達が安心して、楽しめる環境作りに努めます。
(4) 保育内容			
①子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a	職員は子ども一人ひとりの性格や特徴を理解しており、言葉遣いも穏やかで、子ども一人ひとりを受容した保育に努めている。	子ども達、一人ひとりの個性を配慮した保育実践に努めます。
②基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a	トイレ誘導や睡眠など、子どもの年齢や気持ちに添った接し方を心がけており、子どものペースを尊重している。	集団生活のなかでも、子ども達一人ひとりの状況に応じた対応を心掛けます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
③子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a	保育室の一角にダンボールや廃材でつくったキッチンコーナー、牛乳パックのブロック、発泡スチロールの食品など、遊具や玩具を手作りで良く整備しており、子供たちがいつでも伸び伸びと遊べるよう工夫している。	手作りの玩具を心掛け、子ども達の創意と工夫が図られるような環境整備に取り組みます。
④身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	a	自然に恵まれた環境を存分に活用し、季節に関わらず自然と触れ合える保育を行っている。また、案内状の配布や宅配弁当を通じて地域との関わりを持っているほか、園の大型バスに乗って様々な場所へ出かけるなど、社会体験も積極的に行っている。	豊かな自然に恵まれた環境を、子ども達の心身の成長と発達に生かせるよう計画し実践します。園外での保育活動も積極的に行います。
⑤さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a	ダンボールやペットボトルなどの廃品を活用し、子どもの創意・工夫を引き出すよう配慮している。また、外遊び後や給食の前後の時間を見計らい、絵本などの読み聞かせも的確に行っている。	静と動の保育環境を整備し、子ども達の気持ちに合った表現活動ができるよう努めます。
⑥遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a	異年齢の子ども同志が遊べる時間や、給食時の当番活動を通して、協力し合う心、思いやる心を育み、自然に生活上のルールも目につくよう配慮している。	異年齢での保育活動やグループに分かれて当番活動を行うなどの機会を継続して行います。
⑦子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a	子どもの人権に十分配慮し、一人ひとりの声や問いかけに耳を傾けるなど、子どもの尊重した保育を実践している。	施設保育基本方針に沿って、個人を尊重した保育を心掛けます。
⑧性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a	男女混合の名簿や色による区別はなく、保育の進め方や記録などに関しても、男女の固定的な対応をしないよう配慮している。また、柔道やラクビー、お茶会等すべての活動が男女問わず参加できるようになっている。	性差への固定的な概念や意識をすることがないよう保育に取り組みます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑨乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	<p>担当制による継続した関わりなど、子ども一人ひとりに合わせた保育を実践しており、乳幼児突然死症候群（SIDS）に対するチェックも徹底している。</p> <p>なお、感染症や衛生面での配慮も徹底しているが、使用後のオムツケースが保育室内に置かれているため、ケースの設置場所やオムツの処理方法について工夫してほしい。</p>	<p>感染症が疑われる場合のオムツの処理方法については、今後も十分検討しより良い方法へと改善していきます。</p> <p>おむつのケースそのものについては、形態など検討し、より衛生面で配慮できるよう工夫していきます。</p>
⑩長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	<p>延長保育は利用者の意向に合わせて軽食を提供しており、夜間保育等には夕食を提供している。</p> <p>また、長時間保育の子どもには保育室を移動するなど、長時間保育による弊害を軽減するため環境等に配慮している。</p>	<p>長時間保育にわたる保育環境を整備し、子ども達への弊害が無いように保育を行います。</p>
⑪障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	<p>園内をバリアフリーとして環境の整備に努めているほか、保護者や医療・関係機関との連携により、子ども同士の関わり方を含め十分に配慮している。</p>	<p>利用者への保育に配慮した対応を心掛けます。</p>
2 子育て支援			
(1) 入所児童の保護者の育児支援			
①一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a	<p>連絡帳や個別面談のほか、送迎時の対話にて十分な情報交換を行い、意見や要望があればとり上げ、職員間でも周知している。</p>	<p>利用者の情報収集や情報提供の機会を多くし、個別配慮できるよう指導計画に反映します。</p> <p>また、子ども達に関わる全職員が情報を共有化できるように周知の工夫を図ります。</p>
②家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a	<p>連絡帳のほか、送迎時にも保護者との会話を充実させ、子どもの状況について確認している。</p> <p>また、必要事項をクラス話し合いノートや個別面談報告書などに記録し、職員間でも共通理解を図っている。</p>	
③子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a	<p>保育参加や行事への参加により、園での子どもの様子を確認できるよう配慮している。</p> <p>また、個別面談や送迎時にも話し合い、保育内容に関して共通認識を得ている。</p>	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
④虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報を速やかに所長までに届く体制になっている。	a	虐待に関するマニュアルを整備し、チェックシートを活用しながら登園時や午睡時に確認するなど、早期に発見できるよう努めている。 また、疑われる場合には、情報収集のうえ速やかに園長に伝わるよう仕組みを整えている。	毎日のコミュニケーションの中で、保護者の負担感を軽減できるよう心掛けます。また、緊急時には早急な対応ができるよう連携機関との関わりを深めるよう努めます。
⑤虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a	疑いのある子どもがいる場合は、定められた手順に沿って、関係機関と連携しながら対処することをすべての職員に周知している。 また、マニュアルには児童相談所や行政など、関係機関の連絡先を一覧にしている。	
(2) 一時保育			
①一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a	担当者は決めているが、できる限り通常保育の子どもと一緒に生活し交流を深めるよう配慮している。 また、3歳未満児の場合は連絡帳で、3歳以上児は口答で一日の生活を保護者に伝えている。	利用者に配慮した保育環境を整備し、安心して利用してもらえるよう配慮します。
3 安全・事故防止			
(1) 安全・事故防止			
①調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a	清掃業務分担当番表に基づき、職員が持ち回りで掃除するなど清潔の保持に努めている。 また、哺乳ビンの消毒・除菌や園内の各所の消毒方法をマニュアルに整備しており、適切に行われている。	施設衛生管理マニュアルを周知徹底し、環境を整備します。 発生時には迅速な対応ができるような態勢作りに努めます。
②食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a	食中毒予防のマニュアルを整備し、職員の手洗いや下痢・嘔吐時の対応のほか、調理器具の消毒や食材の加熱処理などを明確にしている。 また、園内各所にも掲示し、保護者や職員に周知している。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
③事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a	施設点検表に基づき遊具や危険箇所をチェックし、安全・安心な環境づくりに努めている。 また、事故報告書を活用して課題等を検討し、改善に向けて取り組んでいる。	事故防止マニュアルに沿って、施設の危険箇所を抽出し、定期的な点検を継続実施します。 事故や災害の発生時に迅速な対応ができるような態勢作りに努めます。
④事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	地震や火災発生時の対応を明確にし、有事には危機管理組織図や消防・防犯組織図に基づいて避難誘導等の指揮系統を整えている。 また、定期的に避難訓練を実施し、各所に誘導経路図を掲示して非常時に備えている。	
⑤不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	園内外に防犯カメラを設置し、事務室のモニターにより不審な動きがないか確認しているほか、緊急連絡体制も明確にして不審者対策に努めている。	緊急時の各職員役割等を明確にし防犯環境を整えています。継続して、不審者対応訓練を定期的に行います。